

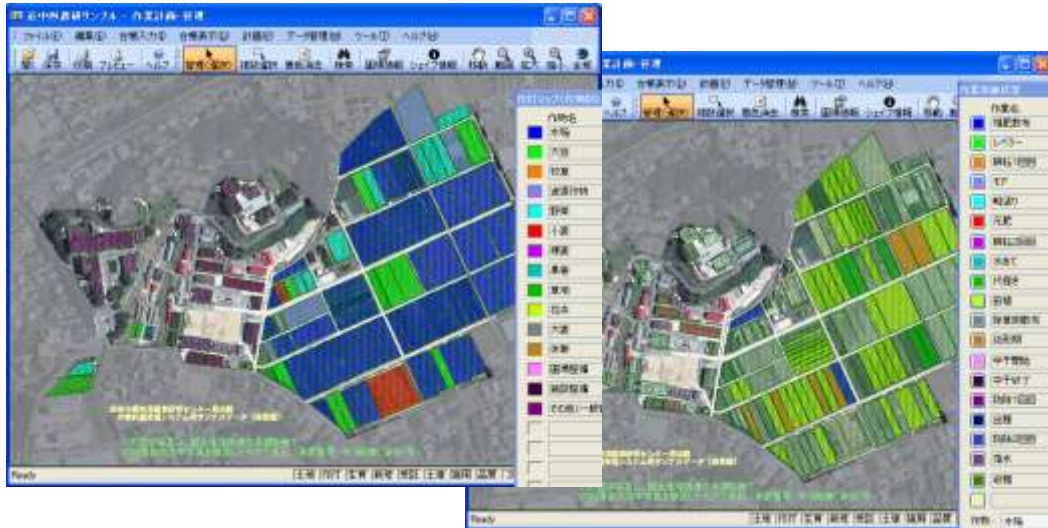
# 圃場や作業の情報管理をお手伝い

## 「圃場マップを用いる作業計画・管理支援システム」

近畿中国四国農業研究センターは、圃場や作付け、栽培管理作業に関する情報を、Windows PC (Windows OS の搭載されたパーソナルコンピュータ) 上で、圃場の地図を表示しながら、視覚的に管理できるソフトウェアを開発し、公開しています。

地図上の圃場毎に情報表示されるので一目で状況を把握できます

このソフトウェアの一番の特長は、データ入力した圃場や作付け、作業などについての情報を、画面上の圃場地図上に着色表示して、一目で状況を確認できることです (例、下左図：作付け、下右図：作業進捗)。



入力するデータ項目には、地番、所有者、面積、圃場区画、栽培作物、使用資機材、日々作業、土壌成分、収穫物の品質などがあります。これらのデータを入力することで、以下のような利用が考えられます。

- 圃場地図上での視覚的な各種データ管理 (本システムの基本) と状況把握
- 農地管理、土壌成分管理 (圃場位置、分散状況、成分バランスなどの把握)
- 作付け計画作成・管理 (品目・品種)、品質管理 (収量・等級など)
- 作業受委託を含む日別圃場別作業計画の作成、作業進捗・実績管理
- 労務管理 (日別作業予定、日別圃場毎作業指示・報告、日別・圃場別作業履歴)
- 各種データの一覧表形式表示
- 請負耕作、作業受託に伴う料金集計
- 農家情報・作付け情報を利用した水稻共済細目書異動申告票作成支援

この他にも応用次第で利用場面は広がるかもしれません。

データを蓄積していくことで、書類作成や栽培管理事務を効率化できます

一例として、蓄積されたデータ (農家情報や作付け情報) に基づいて、水稻共済細目書異動申告票 (マイクロソフトエクセルで作成された様式) を作成することで、役所と連携して書類作成事務を効率化できます。また、利用されている農家の方から、画面上や印刷した作業指示書でオペレータと作業予定・内容等の打合せができ、効率化できたとの声が寄せられています。

使用するには圃場の地図が必要になります

Windows PC とインターネット接続環境があれば、ソフトウェア自体は無償で入手できます (ただし、ダウンロード等に要する通信経費等は必要です)。

実際に使い始めるには、ご自身が管理する圃場の地図を作成する必要があります。通常、下絵となる航空写真や自治体が所有している大縮尺の地形図などを別途入手してデータ化する必要があります。また、自治体等が所有している圃場地図データを利用できる場合もあります。

このソフトウェアの詳細については、以下の Web サイトを参考にして下さい。

「作業計画・管理支援システム」情報公開サイト → <http://www.aginfo.jp/PMS/>

このサイトよりソフトウェアのダウンロードができるようになっています。

このソフトウェアは、現在も、研究開発にご協力いただいている実証地や、一般にご試用いただいている個人農家・農業法人・営農組合などの方々から寄せられたご意見・ご要望を踏まえて、少しずつ改訂しています。

(執筆者：生産支援システム研究近中四サブチーム 吉田智一)